



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リード

コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 町田 肇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 千葉 新

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,399	△32.9	△249	—	△240	—	△248	—
25年3月期第2四半期	3,576	△1.6	△58	—	△41	—	△66	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△18.92	—
25年3月期第2四半期	△5.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第2四半期	9,735	—	2,379	—	24.4	181.13
25年3月期	8,991	—	2,298	—	25.6	174.95

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,379百万円 25年3月期 2,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△17.6	△320	—	△310	—	△100	—	△7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,164,800 株	25年3月期	13,164,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	26,573 株	25年3月期	25,201 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	13,138,574 株	25年3月期2Q	13,139,947 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資の持ち直しの動きに加え、個人消費も雇用情勢の改善等により底堅く推移していることから緩やかに回復しているものの、新興国経済の減速や資源価格の上昇等もあり不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える乗用車の国内生産台数は、前年のエコカー減税効果の反動から前年同月比7月が3.0%減、8月が9.2%減と前年割れが続いてきましたが、9月には前年同月比12.7%増とプラスに転じました。

このような経済環境の中で当第2四半期累計期間の売上高は2,399百万円(前年同期比32.9%減)となりました。自動車用部品部門の受注減が主な要因です。

損益面につきましては、原価低減改善活動や人件費を中心とした固定費の圧縮によるコストの削減に努めましたが、昨年9月に発生した塗装工場火災の影響と新塗装工場の本格稼働が遅れ外注加工費等が膨らんだことから、営業損失249百万円(前年同期は営業損失58百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金7百万円、受取賃貸料23百万円、助成金収入4百万円、金型等のスクラップ売却益7百万円等により46百万円、営業外費用は支払利息30百万円等により37百万円を計上し、経常損失は240百万円(前年同期は経常損失41百万円)となりました。また、金型等の固定資産除却損7百万円等による特別損失8百万円を計上しました。その結果、四半期純損失は248百万円(前年同期は四半期純損失66百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、2,122百万円(前年同期比36.0%減)となりました。セグメント損失(経常損失)は215百万円(前年同期はセグメント利益7百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、236百万円(前年同期比4.1%増)となりました。照明機器製品は36百万円増加し、電子機器製品は26百万円減少しました。セグメント損失(経常損失)は42百万円(前年同期はセグメント損失62百万円)となりました。

③賃貸不動産

当セグメント利益(経常利益)は15百万円(前年同期比0.8%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しております。

④その他

駐輪設備の売上高は40百万円(前年同期比21.7%増)となりました。セグメント利益(経常利益)は2百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末比744百万円増加し、9,735百万円となりました。項目別では、流動資産は479百万円減少し、3,714百万円となりました。主な要因は電子記録債権が27百万円、製品が63百万円、原材料及び貯蔵品が26百万円増加し、現金及び預金が507百万円、受取手形及び売掛金が93百万円減少したことです。固定資産は1,224百万円増加し、6,021百万円となりました。主な要因は建物が166百万円、機械及び装置が250百万円、リース資産が626百万円増加し、工具、器具及び備品が22百万円、建設仮勘定が314百万円減少したこと等により有形固定資産が705百万円増加し、投資有価証券が515百万円増加したこと等により投資その他の資産が522百万円増加したことです。

流動負債は153百万円増加し、3,877百万円となりました。主な要因は未払金が128百万円、その他の内、設備関係支払手形が44百万円とリース債務が37百万円増加し、短期借入金が41百万円、その他の内、預り金が11百万円減少したことです。固定負債は509百万円増加し、3,478百万円となりました。主な要因は長期借入金が16百万円、その他の内、リース債務が314百万円と繰延税金負債が179百万円増加したことです。その結果、負債全体では663百万円増加し、7,356百万円となりました。

純資産は80百万円増加し、2,379百万円となりました。主な要因は四半期純損失248百万円により利益剰余金が248百万円減少し、その他有価証券評価差額金が329百万円増加したことです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,282	1,720,483
受取手形及び売掛金	1,091,781	998,731
電子記録債権	215,356	242,561
製品	241,422	305,273
仕掛品	71,142	62,070
原材料及び貯蔵品	283,799	310,212
その他	64,125	76,066
貸倒引当金	△1,930	△1,040
流動資産合計	4,193,980	3,714,359
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,061,382	1,228,365
構築物(純額)	51,507	51,230
機械及び装置(純額)	498,639	748,823
車両運搬具(純額)	3,375	3,128
工具、器具及び備品(純額)	226,656	204,443
土地	1,658,935	1,657,869
リース資産(純額)	21,899	648,627
建設仮勘定	345,750	31,150
有形固定資産合計	3,868,145	4,573,637
無形固定資産		
ソフトウェア	9,021	6,246
その他	8,386	7,015
無形固定資産合計	17,408	13,261
投資その他の資産		
投資有価証券	826,481	1,341,830
その他	141,237	148,752
貸倒引当金	△56,110	△55,990
投資その他の資産合計	911,608	1,434,593
固定資産合計	4,797,163	6,021,492
資産合計	8,991,144	9,735,852

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	409,476	416,361
短期借入金	2,186,492	2,145,436
未払金	1,006,910	1,135,141
未払法人税等	3,045	1,428
その他	117,984	179,518
流動負債合計	3,723,910	3,877,885
固定負債		
長期借入金	2,024,049	2,040,067
退職給付引当金	84,347	84,757
資産除去債務	95,329	95,563
その他	764,750	1,257,838
固定負債合計	2,968,476	3,478,227
負債合計	6,692,386	7,356,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	211,245
利益剰余金	217,872	△30,707
自己株式	△5,165	△5,287
株主資本合計	1,082,192	833,490
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	311,622	641,307
土地再評価差額金	904,942	904,942
評価・換算差額等合計	1,216,564	1,546,249
純資産合計	2,298,757	2,379,740
負債純資産合計	8,991,144	9,735,852

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,576,789	2,399,991
売上原価	3,389,811	2,424,952
売上総利益	186,977	△24,961
販売費及び一般管理費	245,628	225,001
営業損失(△)	△58,651	△249,962
営業外収益		
受取利息	347	318
受取配当金	4,401	7,149
受取賃貸料	23,138	23,218
助成金収入	11,537	4,246
スクラップ売却益	2,576	7,370
その他	5,815	4,401
営業外収益合計	47,816	46,705
営業外費用		
支払利息	24,090	30,649
その他	6,189	6,483
営業外費用合計	30,280	37,132
経常損失(△)	△41,115	△240,389
特別利益		
固定資産売却益	498	—
特別利益合計	498	—
特別損失		
減損損失	2,929	1,066
固定資産除却損	16,593	7,014
投資有価証券評価損	7,306	—
特別損失合計	26,829	8,080
税引前四半期純損失(△)	△67,446	△248,470
法人税、住民税及び事業税	265	265
過年度法人税等戻入額	△761	—
法人税等調整額	△236	△155
法人税等合計	△732	109
四半期純損失(△)	△66,713	△248,580

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。